

株主・投資家のみなさまへ
第36期 期末報告書
平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



Research And Development

ホームページのご案内

当社ホームページにおいて定期的に最新の情報を公開しております。是非一度ご覧になってください。

<http://www.nippon-rad.co.jp/>

当社ホームページ以外にも、右記のURLをご参照ください。ジャスダック ホームページ <http://www.jasdaq.co.jp/>



日本ラット株式会社

本社：東京都新宿区四谷4-16-3
TEL:03-5919-3001 FAX:03-5919-3310



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第36期の期末報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、原油や原材料などの価格高騰による影響が懸念されましたが、好調な企業収益を背景として、設備投資の増加や、雇用情勢の改善による個人消費の緩やかな増加などにより、景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、顧客企業の収益改善などにより、IT投資が堅調に推移したものの、コストパフォーマンスに対する要求は一段と高まっており、これに対応できる高度技術者不足が鮮明となるなど、総じて厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境のもとで、当社グループは前期に引き続き、顧客満足度向上のため「ISO9001」に基づく品質方針を掲げ、プロジェクト管理の体制強化と、社員の技術レベルの向上運動を全社で展開してまいりました。加えて、高収益体质への転換を目指し、戦略分野への投資並びに強化分野への人員のシフトを行いました。

この結果、当社グループの連結売上高は、44億82百万円と前期比2億24百万円(5.3%)増加しました。利益面におきましては、プロダクツ販売事業の収益性改善と全社的なコスト削減努力により、原価率は79.7%と前年同期に対し0.9ポイント改善し、営業利益は1億95百万円と前期比64百万円(49.0%)増加しました。経常利益につきましては、営業外損失として関連会社の持分損失の計上はありましたが、1億60百万円と前期比39百万円(32.1%)増となりました。当期純利益につきましては、税効果による法人税等の負担増があり、71百万円となりました。期末配当につきましては、株主皆様のご支援にお応えし、公表予想より2円増額の1株あたり7円とさせていただきました。

今後のわが国経済は、好調な企業業績に支えられた設備投資の増加や、雇用情勢の回復などを背景に穏やかな拡大基調を維持するものと予想されます。

このような経営環境のもとで、当社は高収益体质への転換を目指し、コアビジネスのソフトウェア受託開発につきましては、品質向上による顧客満足度の向上を志向し、プロジェクト管理を強化することで引き続き不採算案件の発生防止に努めてまいります。また今後の成長と高収益体质への転換を担うプロダクツ販売事業につきましては、米国ETI社製品の国内独占販売が加わることなどにより、さらなる成長への取り組みを続けてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

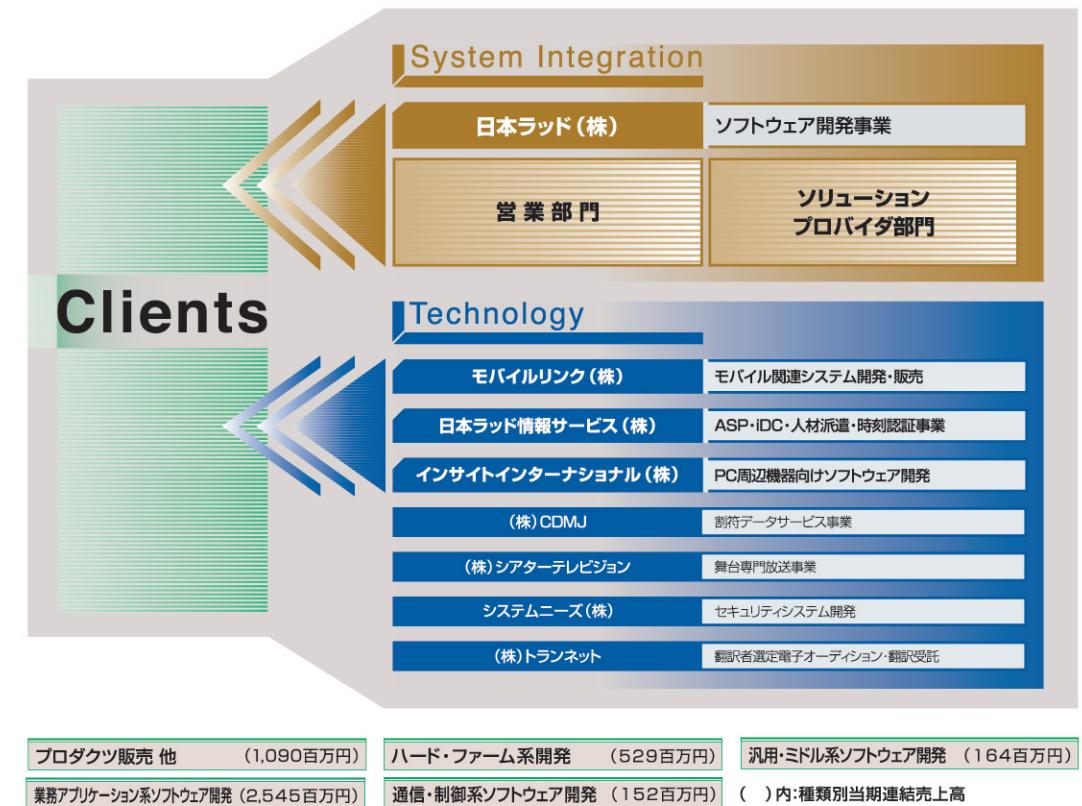
平成19年6月



代表取締役会長
大塚 隆一



代表取締役社長
大和 喜一



急激に変革する社会のいたるところで、コンピュータとネットワークのシステムが単なる「道具」の枠を超えて、人が社会と接する接点としての「役割」を果たすようになりました。システム全体の仕組みの中に入り手が介在していても、決済や本人確認など肝要な部分でICTを利用する機会が多くなっています。このような利用方法の多様化に伴い、対応可能な形成技術と、柔軟で冗長性を持った操作性を実現させるソフトウェアの概念が求められています。この時流の中にあって、当社はさらに大規模で柔軟なシステム構築のための技術をトータルシステムの中で応用し、さらに利用しやすい利用者環境を提供しようと活動しています。

現在当社は、「ビジネスデータ分析ツール」「データ抽出とシステム結合環境」「バイオメトリックス技術」「システムセキュリティ技術」「地理情報応用」「地図描画ツール」「時刻認証サービス」「移動体把握サービス」「デジタルアーカイブサービス」等の技術を中心として、ビジネス開拓・製品提供を行っています。このように多岐にわたる活動分野のうち、主に当社ではシステムのインテグレーションに深くかかわる分野を、当社グループ子会社や関連会社では要素技術の専門的分野を扱っています。これらを通じて、新しい技術に対する【挑戦の精神】と、これまで培ってきた経験を生かした【安全なシステム提供】を目指し、積極的な姿勢で業容の拡大に取り組んでまいります。



ETI社への出資および「ETI-Solution日本語版」の発売

当社は、2006年5月、米国のシステム開発会社であるETI社との間で、ETI社への出資並びにETI社の開発した「ETI-Solution」の日本語化と日本国内での販売に関する契約を締結しました。「ETI-Solution」は、あらゆるデータを既存の環境に左右されることなく変換したり統合することを可能にするソフトウェアで、欧米では、米国国防総省やモトローラ社など多くの政府機関や多国籍企業で利用されています。日本では、当社が日本語化に取り組み、2007年6月に「ETI-Solution日本語版」として発売を開始しました。



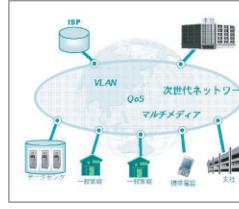
マルコメ オンラインショッピング「おいしい通販みあさ」

当社オープンシステム事業部では、マルコメ(株)様のオンラインショッピング「おいしい通販みあさ」の構築に携わっております。このプロジェクトは、既存システムとの連携や制作会社など関わる会社も多く、調整事項が多いなかスタートいたしました。4ヵ月という短期でサービスインが迎えられるか非常に難しい現実がありましたが、2006年11月に予定通りサービスインを迎えられました。その要因としてマルコメ様をはじめ関係する会社の方々とのプロジェクトを成功へ導くための和、そして我々チームの結束と和と、目標に向かいあきらめない強い意志があったと思います。今後多くの消費者の方にますます喜んでいただけるよう、マルコメ様をバックアップし、サービス向上の手助けをしていけるように取組んでまいります。



組み込みソフトウェア開発技術

当社制御通信システム事業部では、組み込みシステム(エンベデッドシステム)開発を中心事業を進めております。近年、携帯電話に代表される組み込みシステムの機能・性能は非常に高くなっています。その組み込みシステムの機能・性能を支えるものとして、MPU(マイクロプロセッサ)の高性能化とOS(オペレーティングシステム)の高機能化があります。当社では、それらの組み込み機器開発にかかる高い技術を保有することから、大手メーカー様より、リアルタイムOSを使用した、携帯電話、ネットワーク装置(レイヤー2スイッチなど)、カーナビゲーション、カーステレオ装置などの組み込みシステムの開発を受注しており、皆様の生活の中でリアルタイム性が要求されるシステムの構築を行っております。今後も、今まで培った組み込み機器開発技術をベースに、信頼性の高い組み込みシステムの開発を行ってまいります。



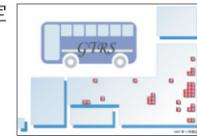
次世代マルチスクリーンコントローラを販売開始

プロダクツ第三事業部が、総販売代理店として取り扱うマルチスクリーンコントローラのラインナップに新製品が加わりました。新製品であるDXN1900シリーズは、1面あたり1080p(1920×1080)までの高精細出力が可能となりました。また、RGB入力も1080pに対応しています。表示できる情報量が大幅に増加したことで、管制センター・指令センター・監視ルーム等のミッションクリティカルなシステム(24時間365日運用)において、リアルタイムな状況把握と意思決定を強力にサポートします。



デマンド交通システム

当社プロダクツ第二事業部が開発し、NTT東日本(株)様が販売を担当している「デマンド交通システム」とは、タクシー会社や自治体の小型乗合自動車を利用して、利用者を自宅などから目的地まで送迎するという、予約型の交通システムです。バスのような低料金でありながら、かつタクシーのようなドアtoドアの便利さを併せ持ち、導入地域の社会福祉にも貢献しています。2007年4月現在、32の地域で導入されており、導入された地域で協議会が設立されるなど、新たな活動も広がっています。また、今後は、市町村合併にともなう大型システムの導入が予定されています。



全国デマンド交通システム導入機関連絡協議会
<http://www.demand-kyouikai.jp/material/conference.html>
当社デマンド交通システムホームページ
<http://as.nippon-rad.co.jp/product/demand/>

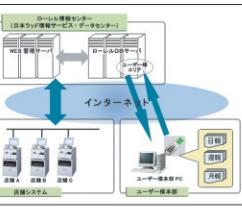
オフィシャルホームページのリニューアル

当社は、2007年5月、オフィシャルホームページを大幅にリニューアルいたしました。リニューアルに当たっては、ご利用される皆様の立場からサイトを見つめ直し、ご提供する情報をわかりやすく伝えることができるよう配慮するとともに、パソコンに不慣れな方々のみならず、高齢者や障害者の方々のご利用や使い勝手を考慮した、アクセシビリティとユーザビリティの確保に留意しております。今後もホームページにおいて、株主様をはじめとする皆様に対し、当社の情報をわかりやすくお伝えできますよう、適時適切な発信に努めてまいります。



店舗現金管理ASPシステム「DCS-ASP」サービスの開始

日本ラッド情報サービス(株)は、2007年3月に開催された「RETAIL TECH JAPAN 2007」において、新サービス「DCS-ASP」の発表をいたしました。この「DCS-ASP」サービスは、レジ用の釣銭払出機・両替機・売上金納金機の3役を1台で実現する店舗現金管理システムと日本ラッド情報サービス(株)のセンターシステムとをインターネットで結び、各店舗の状況をリアルタイムにweb上で確認できるようにするものです。本支店状況の一括管理、不正や現金事故の防止、従業員シフト・現金フローの効率化など、業務合理化を可能にするものとして中小規模店舗を中心に広くご提供していきます。



TPM対応802.1Xの開発

インサイトインターナショナル(株)は、PC(クライアント)とサーバを認証するための業界標準「802.1X」に準拠した製品である「INS-Sentinella1X」を、PCに標準搭載が始まったセキュリティチップである「TPM(Trusted Platform Module)」に連動した製品の研究開発に成功しました。



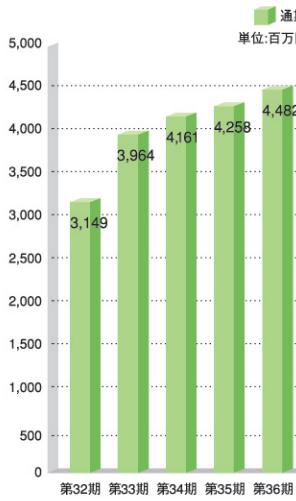
この製品は、2007年第3四半期より、無線LANサービスを行っているキャリア、生命保険会社など、PCとサーバの認証により高度なセキュリティ環境を必要としている企業向けに市場展開する予定です。

物流会社向けドライブレコーダーの販売開始

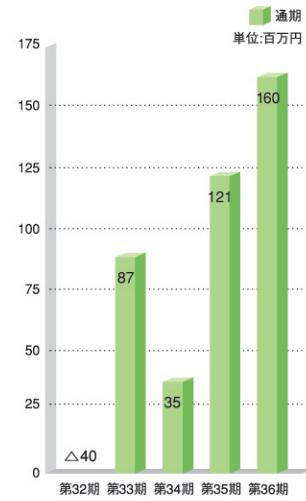
安全管理やエコドライブへの関心の高まりを背景として、モバイルリンク(株)が開発した、運行管理システム「TacMan」は着実に販売実績を伸ばしております。2007年3月期においては、国土交通省が実施しているEMS普及事業(エコドライブ管理システム)への参加企業5社10事業所241車輌、その他6社7拠点223車輌と、多くの企業に導入を頂きました。今期におきましては、導入頂いた企業が対外的にアピールできるよう、車輌後方に貼るシールを作成し、無償で供給するなどの活動もはじめ、前年度以上に多くの企業に、ご検討を頂いております。また今春からは、2006年10月より販売を開始いたしましたドライブレコーダーと「TacMan」との連動に関する開発に着手するとともに、現行システムのバージョンアップを行い、2007年10月から新システムの出荷を行う予定です。



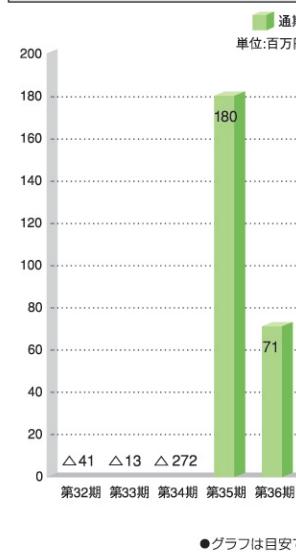
売上高



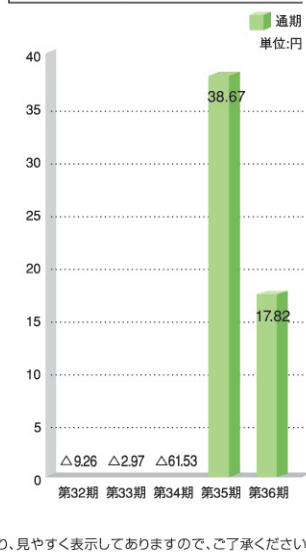
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



●グラフは目安であり、見やすく表示しておりますので、ご了承ください。